

保健ニュース冬休み号

大阪府立今宮高等学校保健部 平成21年12月22日

「新型」インフルエンザワクチンが1月から接種可能です

文部科学省から、事務連絡がありましたのでお知らせいたします。なお、新型インフルエンザワクチンの接種予約、接種できる医療機関等に関する詳細情報については、大阪府健康医療部ホームページなどで確認願います。(参考参照)

1 新型インフルエンザワクチンの接種回数

国立成育医療センター及び大阪市立大学公衆衛生学教室によって実施された、中高生に対する臨床試験の結果から、「中高生に相当する年齢の者」は1回接種とする。

2 新型インフルエンザワクチンの接種開始時期

・高校生 平成22年1月のワクチン接種を行う各医療機関の年始診療日から
(ワクチンの流通・在庫状況により、希望されても直ぐには接種できないこともあります)

参考 大阪府ホームページ 新型インフルエンザ対策関連情報 ワクチン関連情報

<http://www.pref.osaka.jp/chikikansen/influ/index.html>

* 今宮高校の学級別罹患率 (平成21年12月22日現在)

学年	組	罹患者(人数)	罹患率(%)	学年	組	罹患者(人数)	罹患率(%)
1年	1組	15	37.5	3年	1組	9	22.5
	2組	15	36.6		2組	7	19.5
	3組	13	32.5		3組	7	17.9
	4組	17	41.5		4組	5	12.8
	5組	16	40.0		5組	16	40.0
	6組	18	45.0		6組	12	30.8
2年	1組	11	28.2	合計		218	30.5
	2組	11	28.2	全校生徒数 714名			
	3組	8	20.0				
	4組	13	31.3				
	5組	13	32.5				
	6組	12	30.0				

アcantアメーバー角膜炎は他人事でない

不適切なコンタクトレンズ使用が原因

使い捨てコンタクトレンズ(2週間)を長期間交換しないで使用していたために、両眼のアカントアメーバー角膜炎になり、難治性のため、大学病院での治療を余儀なくされた21歳の症例を紹介します。

この患者さんは2週間の使い捨てレンズを使用していましたが、慣れるに従い、1~2ヶ月の長期にわたっての使用を続けていました。年末に**充血、疼痛、視力低下**が出現しました。角膜は円形、不正形に、すりガラスのような混濁と浮腫がみられ、結膜充血も高度でした。アカントアメーバー角膜炎が最も疑われ、確定診断と治療のため大学病院に**入院**し特殊検査の結果アカントアメーバーが確定しました。

アカントアメーバーは原生動物であり、汚れたレンズや保存ケースに付着したアメーバーが細菌を餌にして増殖すると言われています。このアメーバーが角膜の小さな傷から中に入り込み感染します。

使い捨てコンタクトレンズを使用の際には、お金節約のために不適切に長期間使用すると、失明になりかねない重篤な角膜障害をきたすことがありますので、使用期限を守り、三ヵ月ごとの定期検診が大切です。

(コンタクトレンズがなくなって、購入時は眼科の受診も忘れずに !)

